

製品名: 胎盤性ラクトゲンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84454**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000
分子量	25 kDa

抗原情報

遺伝子名	Placental lactogen
別名	CS-2; CS1; CSA; CSB; CSH1; CSH2; CSMT; hCS-B; hCSA; Lactogen; PL; PL1; Placental lactogen;;Placental lactogen
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P01243
免疫原	ヒト胎盤ラクトゲン由来の合成ペプチド

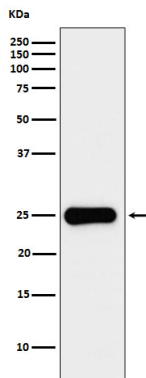
背景

妊娠中にのみ産生され、授乳、胎児の成長、代謝の促進に関与する。GHRとは相互作用せず、亜鉛誘導性の二量体形成を介してPRLRのみを活性化する。

研究分野

-

画像データ



JAR 細胞溶解物中の胎盤ラクトゲン発現のウエスタンブロット分析。